

道内の感染状況等について

【令和3年6月3日】

主な指標の状況(全道)

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者用病床	療養者数	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
全道 (6/2)	1020床 ↓	51床 ↓	6991人 ↓	6.8% ↓	2573人/週 (48.5人) ↓	0.64 ↓	32.0% ↓
道ステージ5基準 (国ステージⅣ)	900床	90床	1327人	10%	1327人/週 (25.0人)	増加	50%
道ステージ4基準 (国ステージⅢ)	350床	35床	796人	10%	796人/週 (15.0人)	増加	50%

※()は10万人あたりの新規感染者数 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

特定措置区域の主な指標の状況

	監視体制	感染状況		
	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
札幌市 (6/2)	7.2% ↓	1631人/週 (83.4人) ↓	0.66 ↓	36.5% ↓
石狩振興局 (札幌市を除く) (6/2)	13.5% ↓	304人/週 (72.0人) ↓	0.57 ↓	30.6% ↓
小樽市 (6/2)	5.3% ↓	37人/週 (31.8人) ↓	0.32 ↓	43.2% ↑
旭川市 (6/2)	2.8% ↓	90人/週 (26.7人) ↓	0.52 ↓	38.9% ↑

※()は10万人あたりの新規感染者数 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

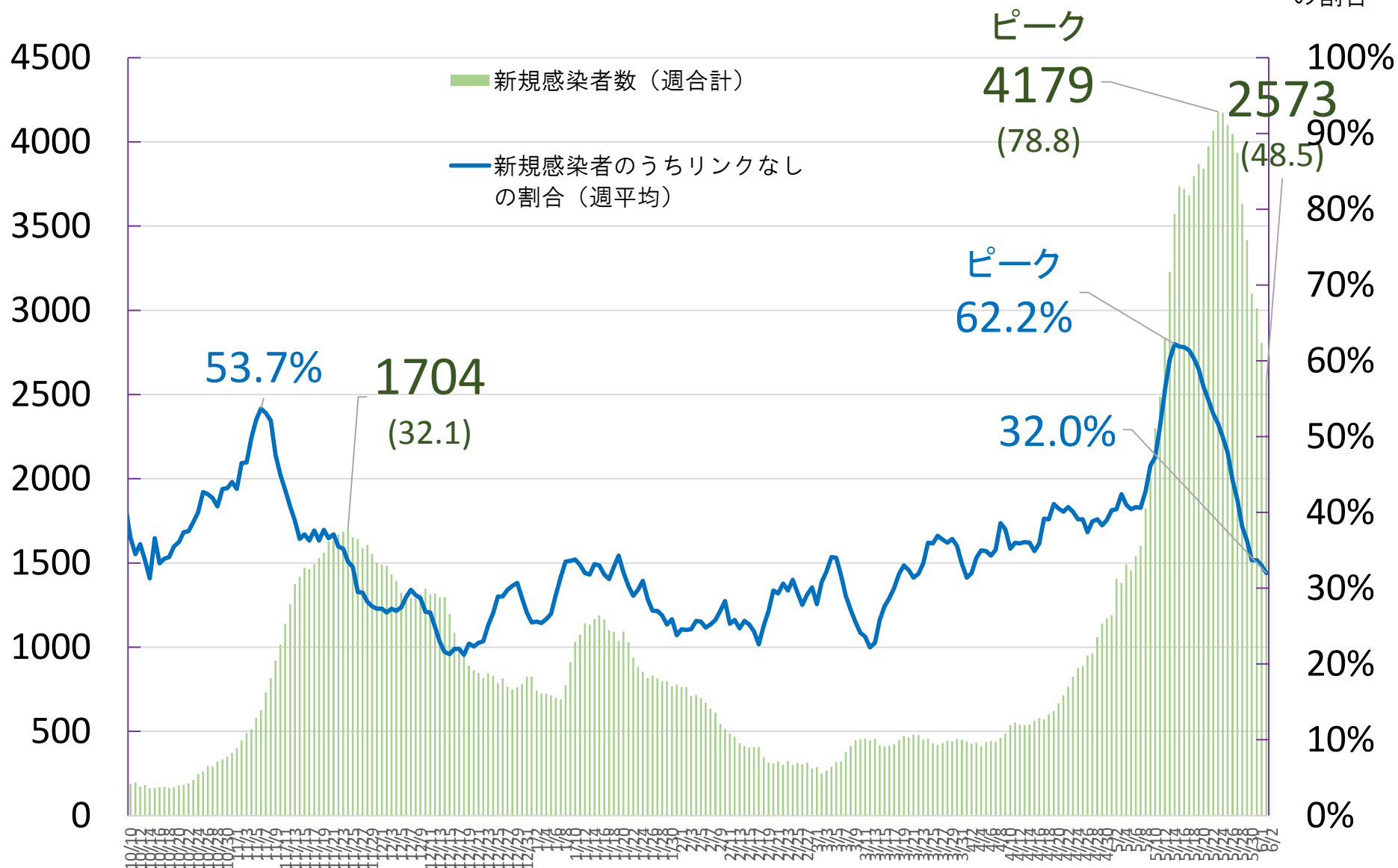
国の分科会提言で示された新たな指標(全道)

	医療提供体制等の負荷			②療養者数	③PCR陽性率	感染の状況	
	①医療の逼迫具合					④新規陽性者数	⑤感染経路不明割合
	入院医療		重症者用病床				
全道 (6/2)	確保病床の使用率 51.5%	入院率 14.6%	確保病床の使用率 35.2%	131.8人	6.8%	48.5人	32.0%
【参考】 札幌市	82.8%	12.5%	66.0%	204.5人	7.2%	83.4人	36.5%
国 ステージⅣの指標	確保病床の使用率 50%以上	入院率 25%以下	確保病床の使用率 50%以上	30人 /10万人以上	10%以上	25人 /10万人/週以上	50%以上
国 ステージⅢの指標	確保病床の使用率 20%以上	入院率 40%以下	確保病床の使用率 20%以上	20人 /10万人以上	5%以上	15人 /10万人/週以上	50%以上

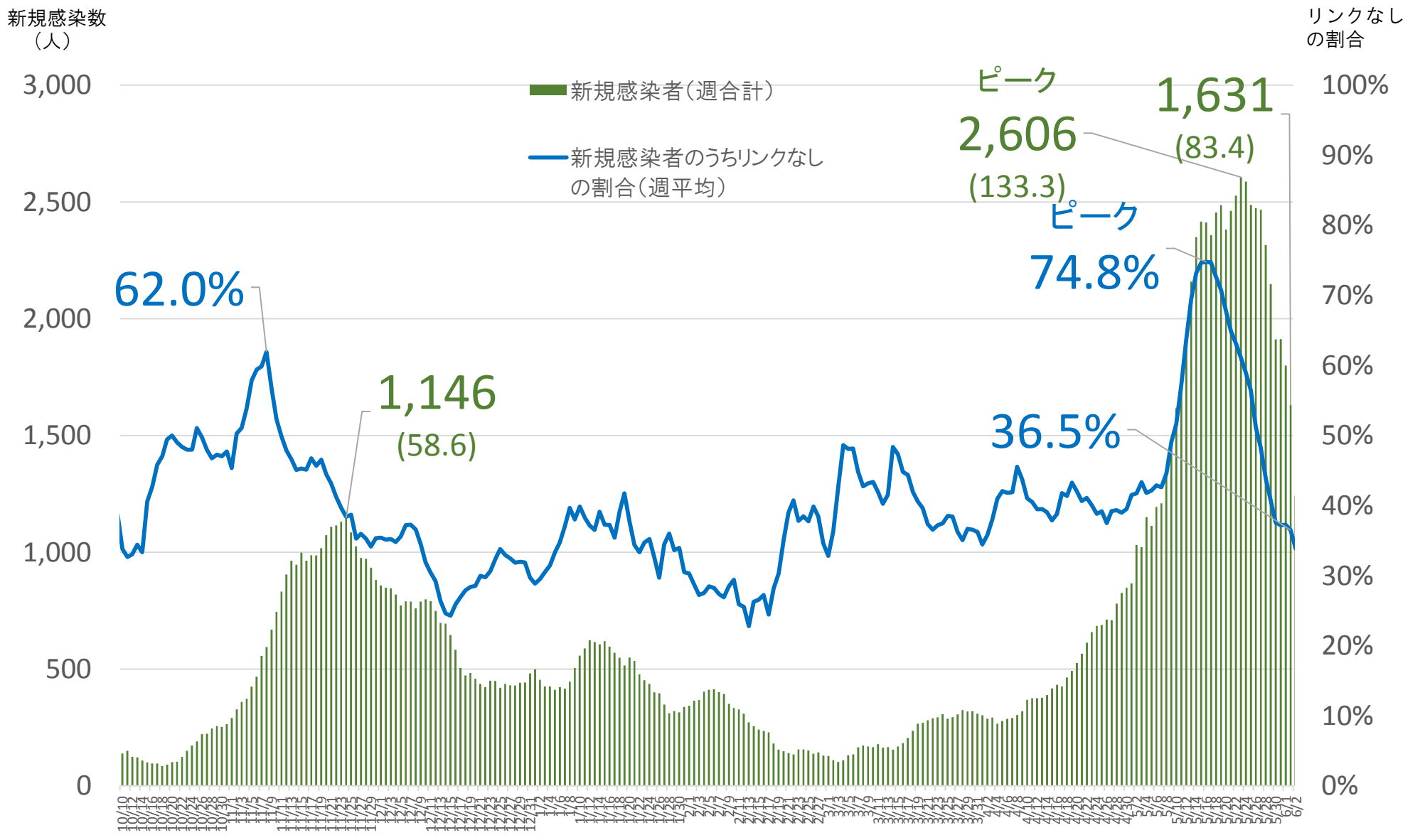
感染状況(全道)

新規感染数(人)

リンクなしの割合



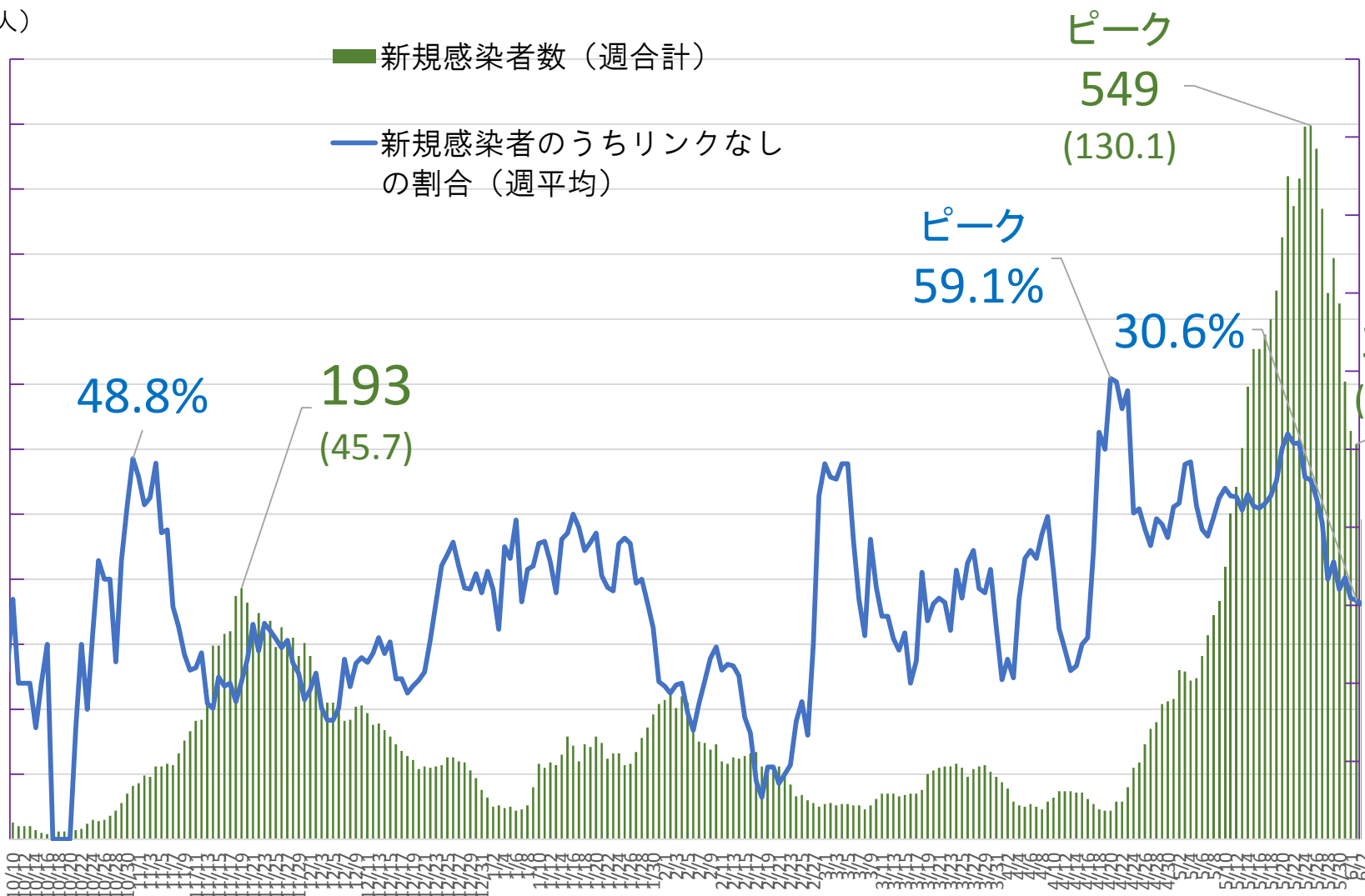
()は10万人当たり人数



新規感染数(人)

600
550
500
450
400
350
300
250
200
150
100
50
0

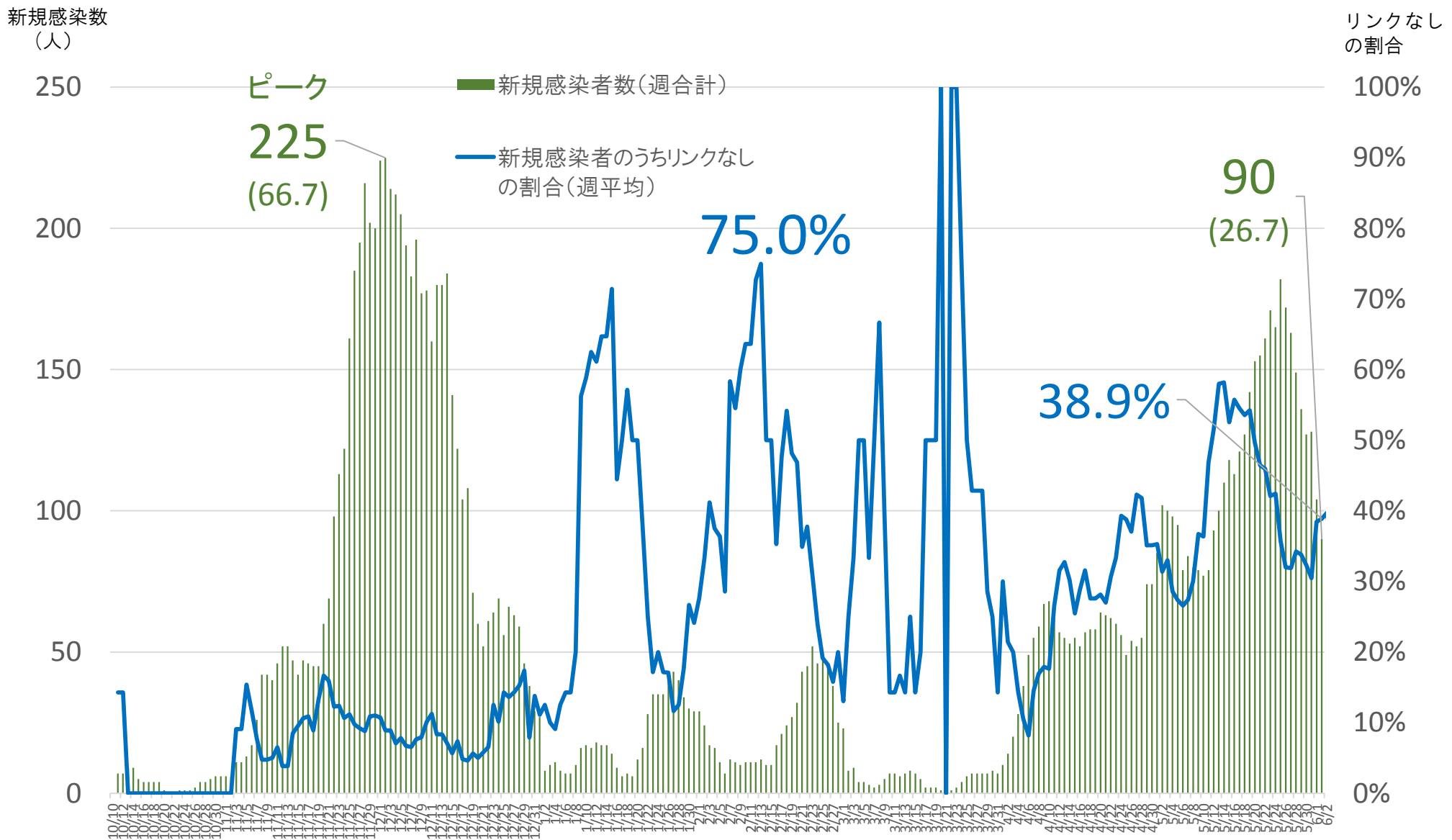
■ 新規感染者数 (週合計)
— 新規感染者のうちリンクなしの割合 (週平均)



リンクなしの割合

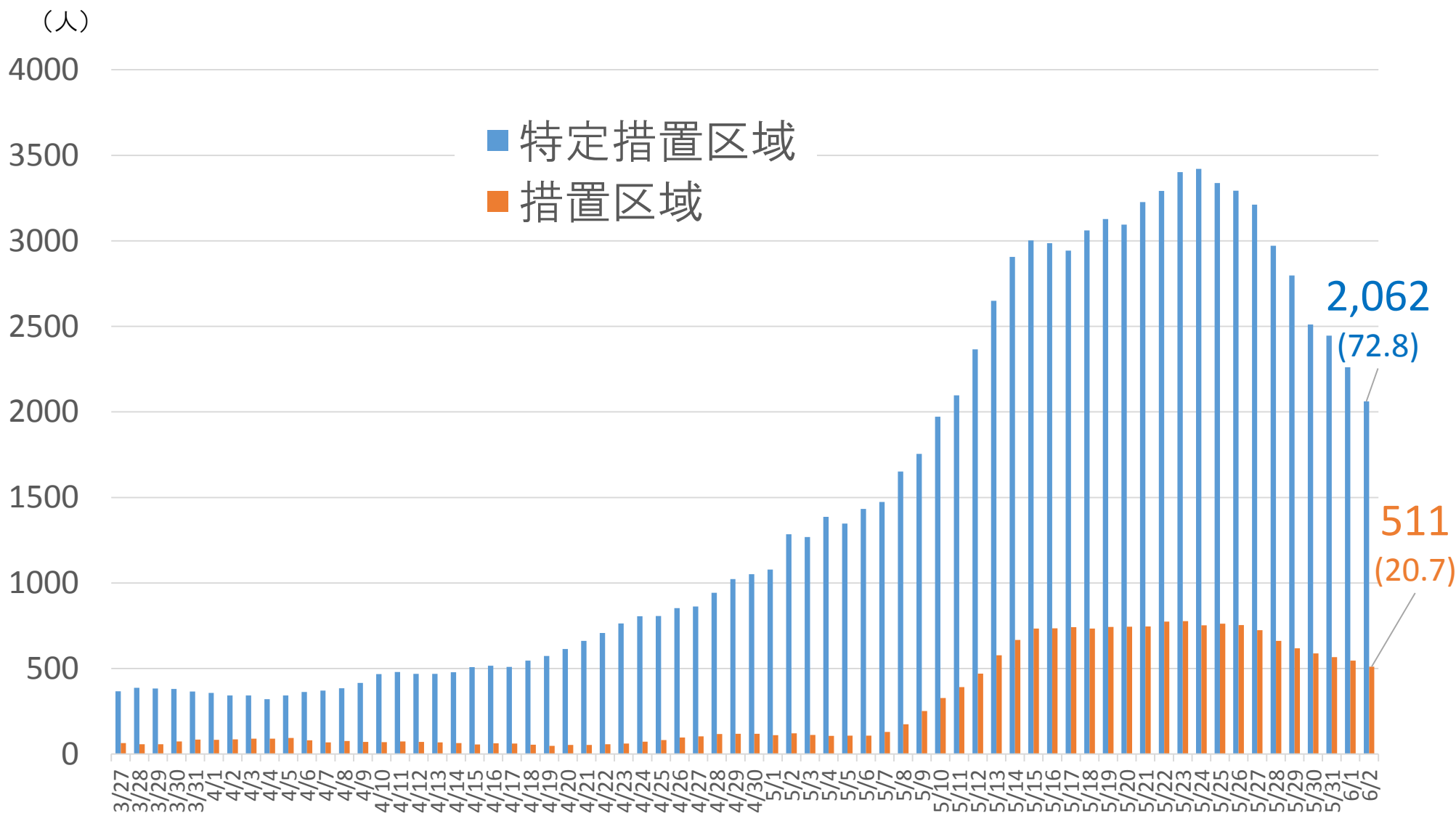
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%

()は10万人当たり人数



()は10万人当たり人数

新規感染者数(特定措置区域／措置区域)

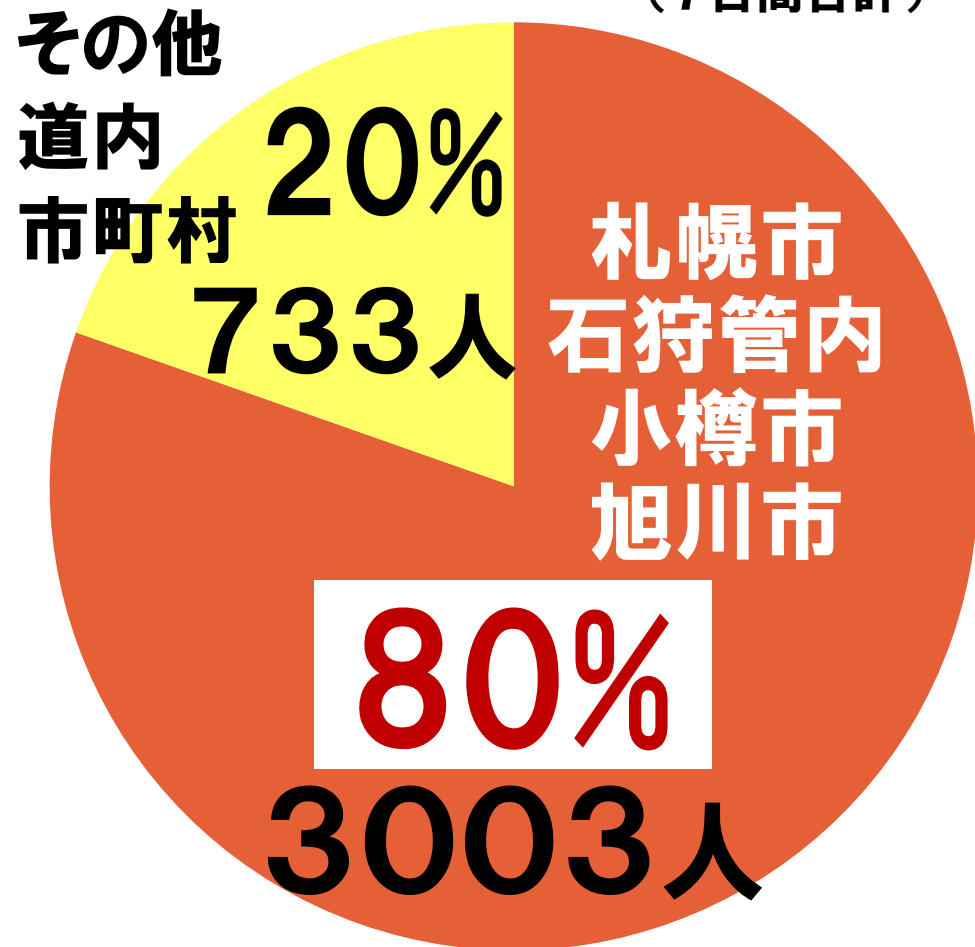


()は10万人当たり人数

特定措置区域の新規感染者数の割合

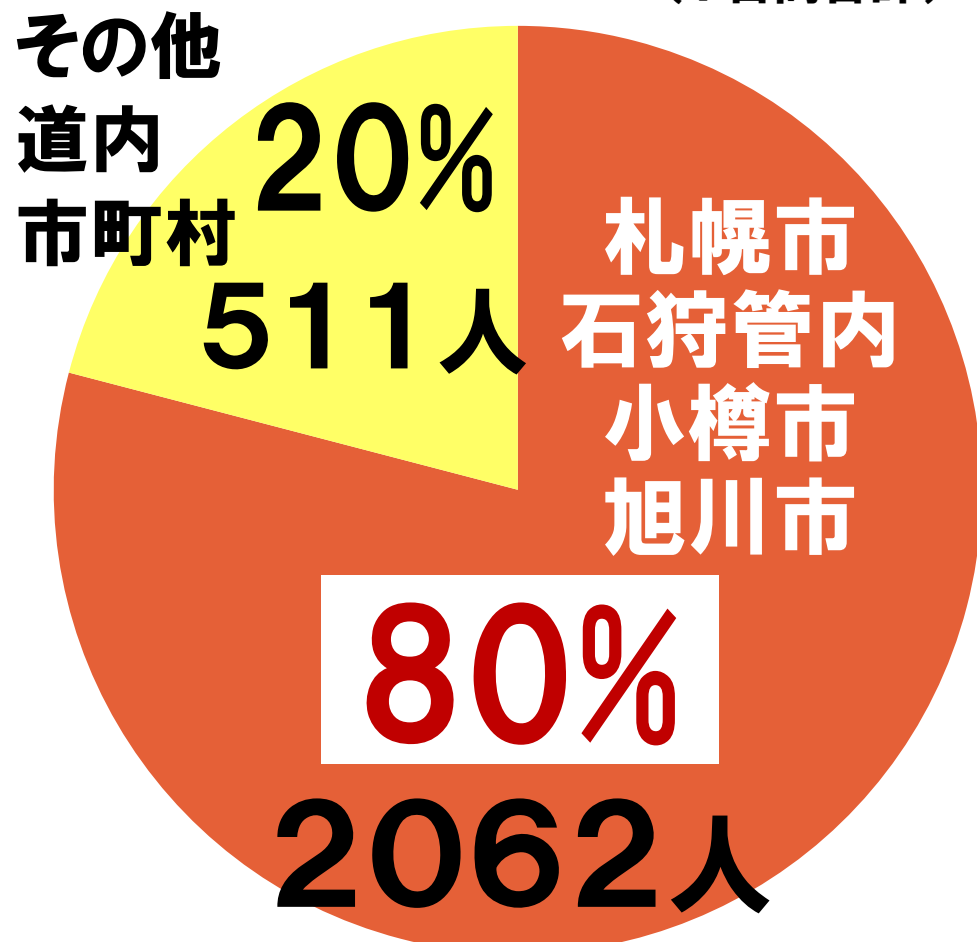
5/15 緊急事態措置前

(7日間合計)



6/2 緊急事態措置後

(7日間合計)



札幌市、石狩管内、小樽市、旭川市:283万人(53%)

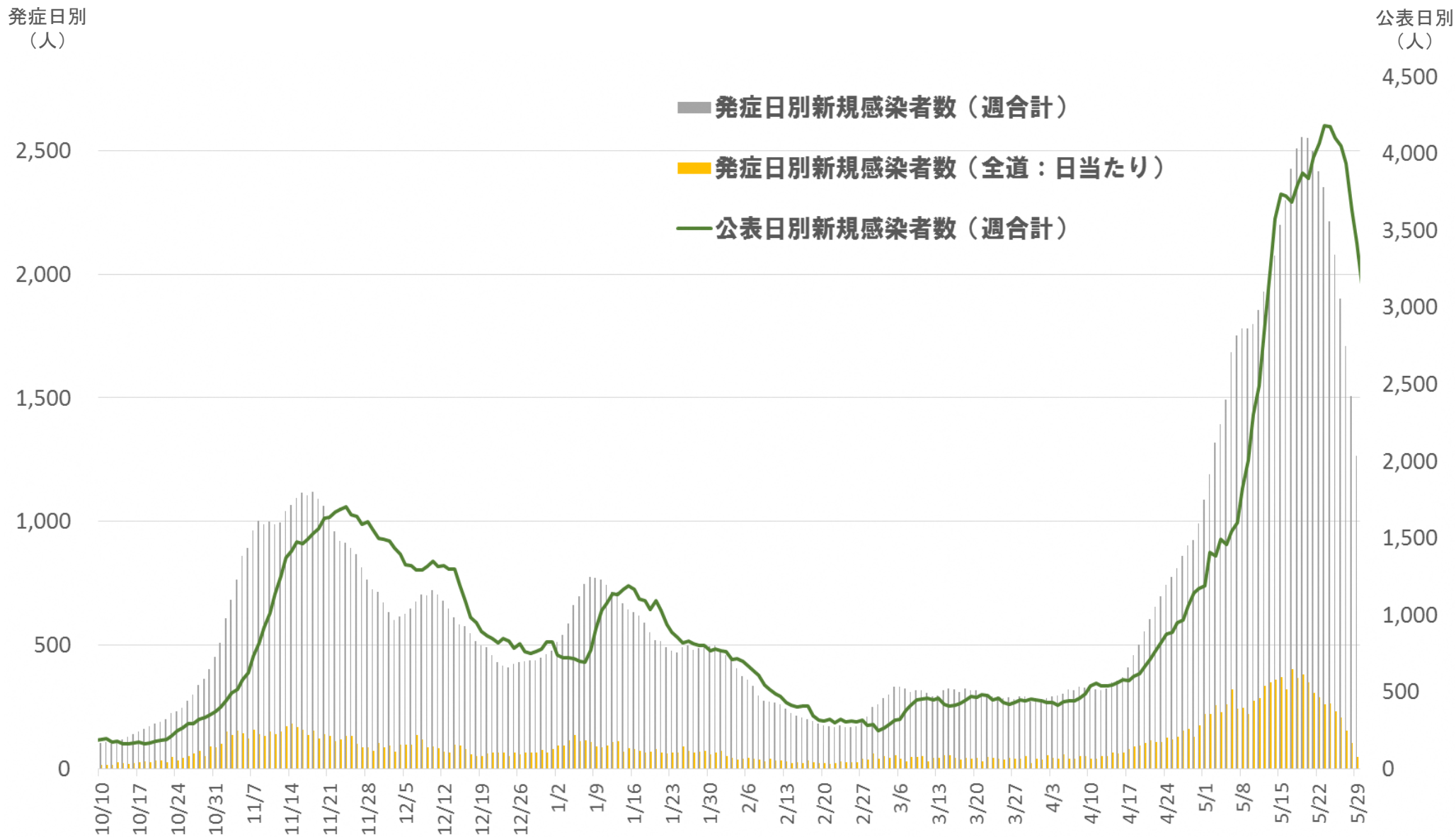
その他道内市町村:247万人(47%) ※住基人口(H31/1/1)

地域別の感染状況

	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	道外	合計
5/20 ～ 5/26	85	3,005	136	167	57	63	4	226	22	10	72	119	51	27	3	4,047
5/27 ～ 6/2	48	1,935	64	167	23	32	2	96	6	10	15	140	22	11	2	2,573

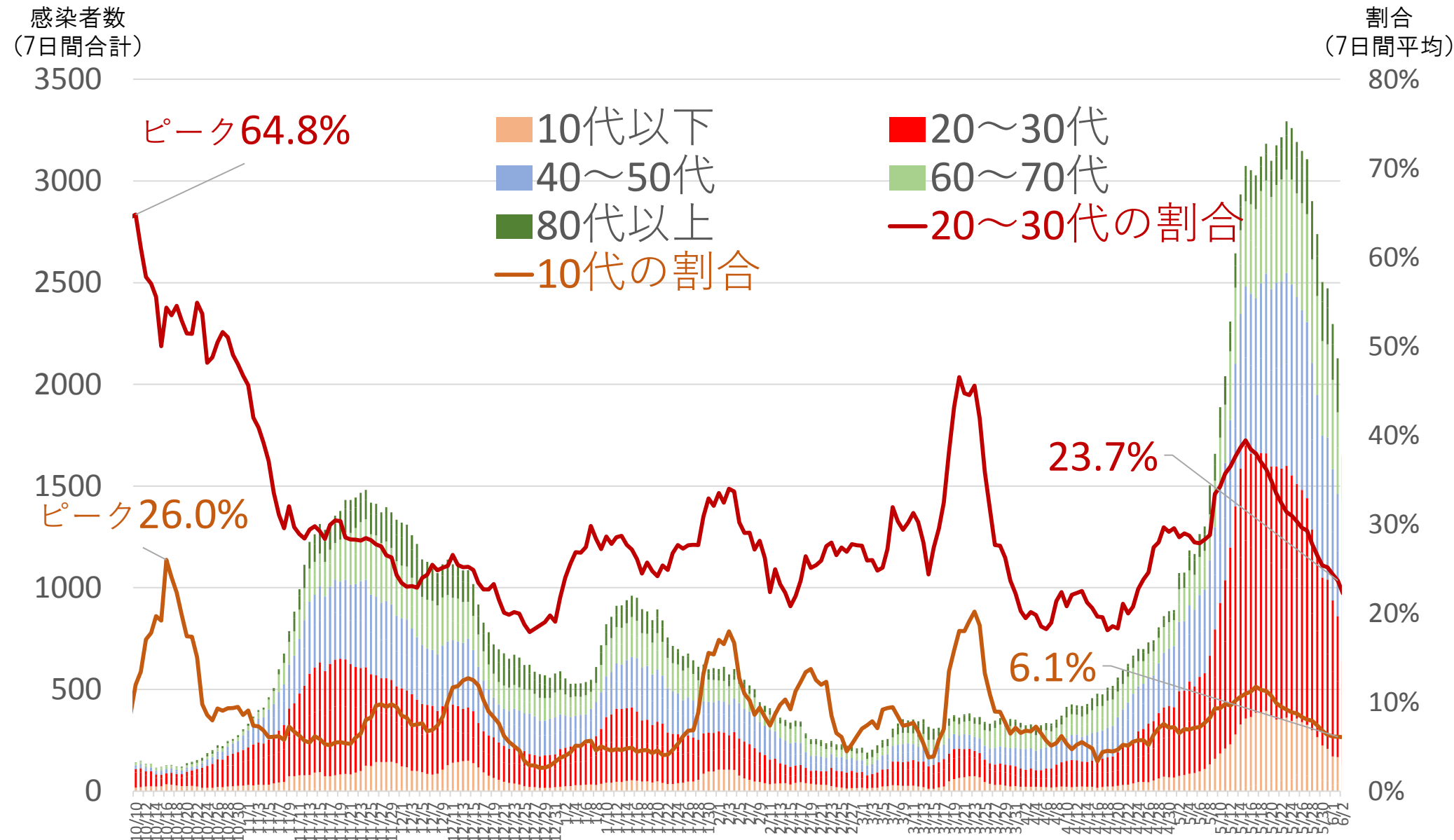
※「居住地」により整理。なお、各保健所設置市が居住地非公表として発表した者は、各振興局等に含めて計上。

発症日別～公表日別の新規感染者数(全道)



※発症日別新規感染者数については、調査に時間を要するため、数日前のデータとなる。
※無症状者及び発症日不明者があるため、発症日別と公表日別の公表人数が異なる。

年代別感染者数と20代～30代の割合(全道)

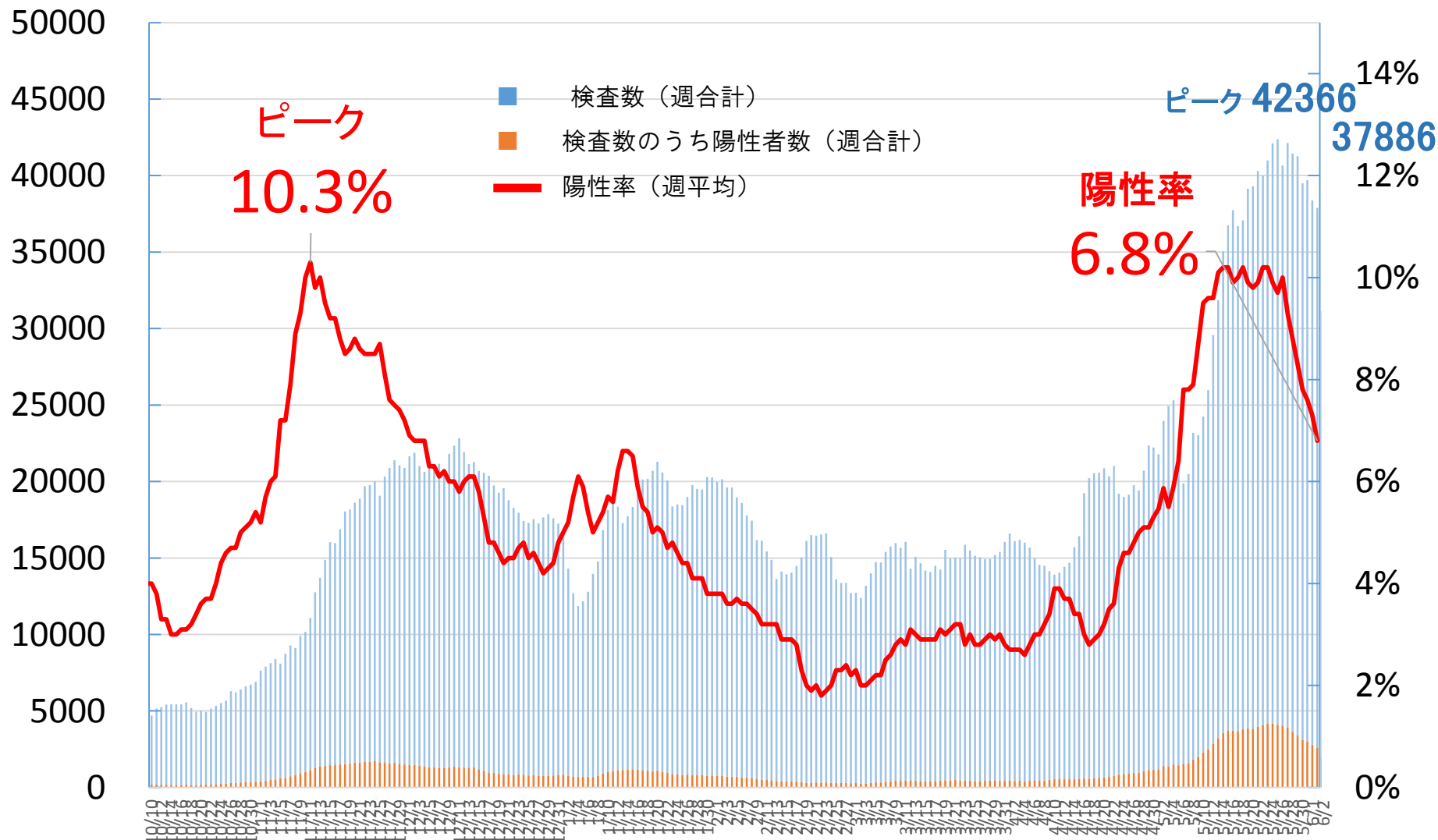


(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

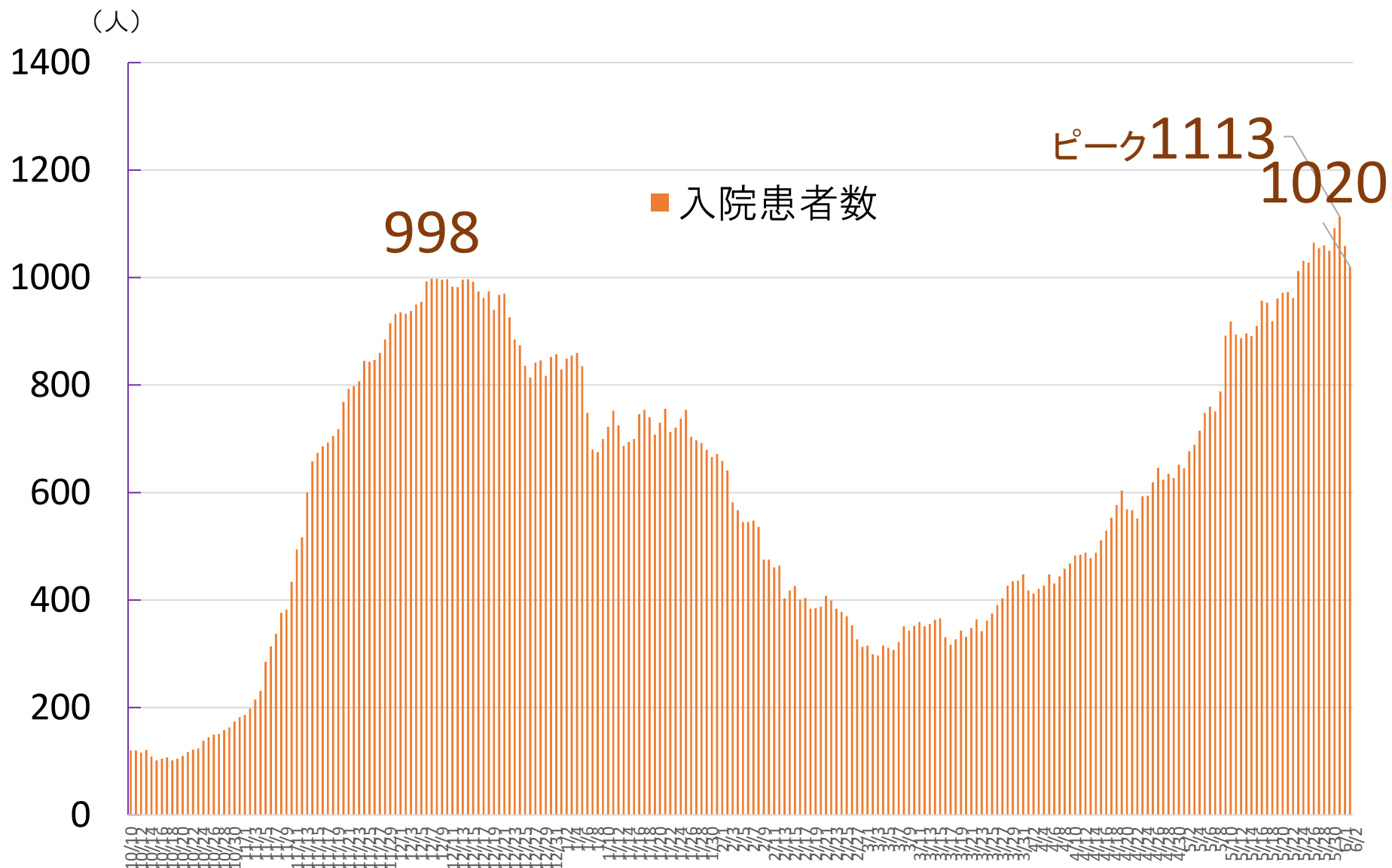
監視体制(陽性率と検査数)(全道)

検査数(人)

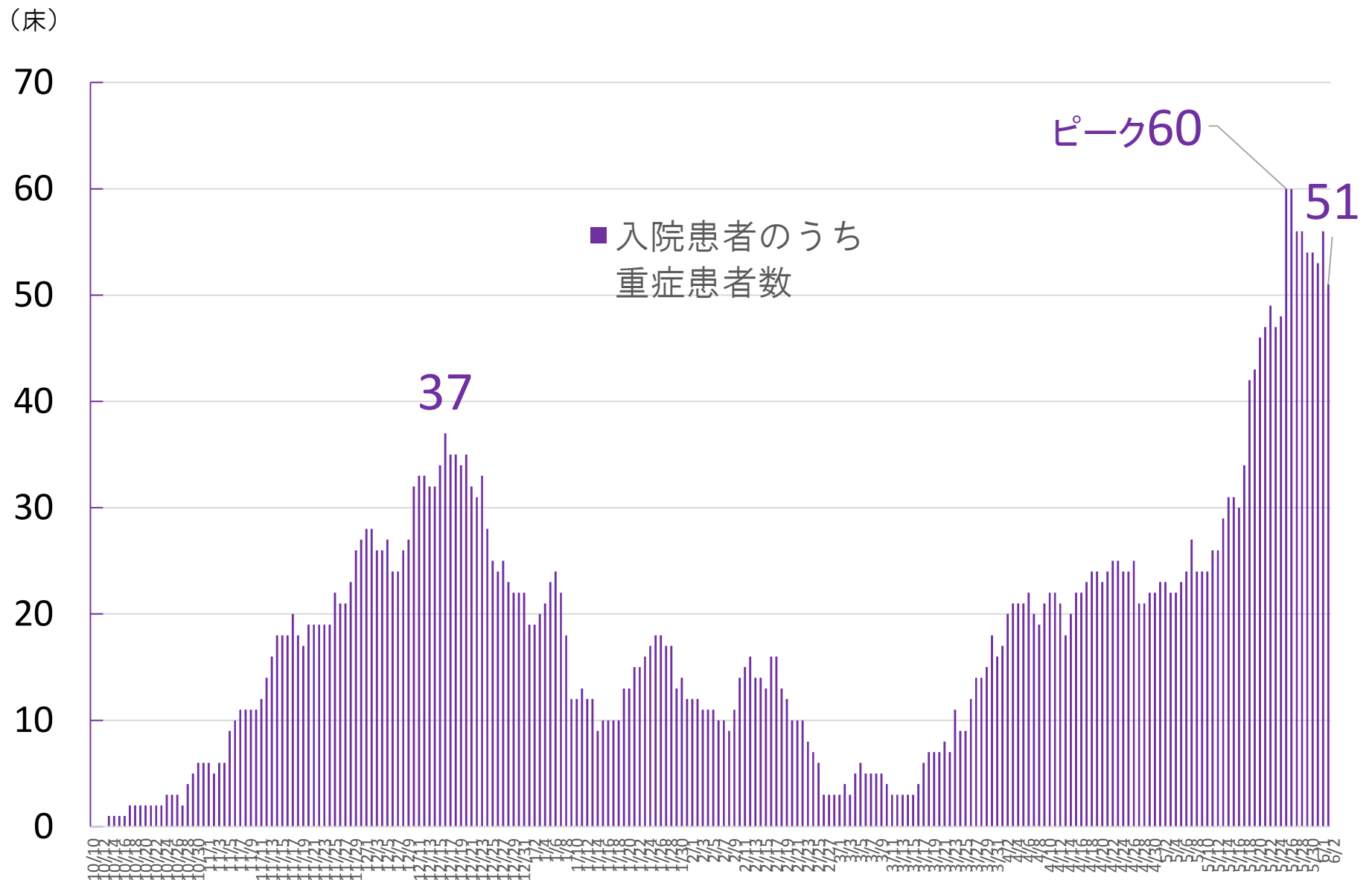
陽性率



医療提供体制等の負荷(病床全体)(全道)



医療提供体制等の負荷(重症者用病床)(全道)



集団感染の発生状況(全道)

	1月	2月	3月	4月	5月
医療施設 福祉施設	26件 (679人)	15件 (294人)	14件 (294人)	23件 (512人)	86件 (1500人)
事業所等	10件 (109人)	10件 (103人)	9件 (110人)	9件 (81人)	36件 (595人)
飲食店等	15件 (174人)	5件 (43人)	8件 (96人)	14件 (102人)	13件 (134人)
学校	7件 (196人)	3件 (33人)	5件 (84人)	7件 (113人)	23件 (226人)
合 計	58件 (1158人)	33件 (473人)	36件 (584人)	53件 (808人)	158件 (2455人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

集団感染の発生状況(特定措置区域／それ以外)

	5/13～19		5/20～5/26		5/27～6/2	
	特定措置	それ以外	特定措置	それ以外	特定措置	それ以外
医療施設 福祉施設	16件 (228人)	2件 (44人)	30件 (534人)	6件 (114人)	10件 (98人)	7件 (156人)
事業所等	3件 (31人)	3件 (39人)	7件 (135人)	8件 (143人)	10件 (161人)	1件 (6人)
飲食店等	4件 (30人)	3件 (27人)	—	2件 (15人)	1件 (6人)	—
学校	—	4件 (52人)	5件 (34人)	4件 (38人)	3件 (23人)	1件 (6人)
合 計	23件 (289人)	12件 (162人)	42件 (703人)	20件 (310人)	24件 (288人)	9件 (168人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率)

1 医療従事者等への接種状況

■ 6月2日現在 1回目接種終了： 195,260人(96.6%)
2回目接種終了： 116,751人(57.8%)

全国の場合

□ 6月2日時点 1回目接種終了： 4,725,022人(98.4%)
2回目接種終了： 3,227,298人(67.2%)

2 高齢者向け接種について

■ 6月2日現在 1回目接種終了： 233,865人(14.1%)
2回目接種終了： 13,501人(0.8%)

全国の場合

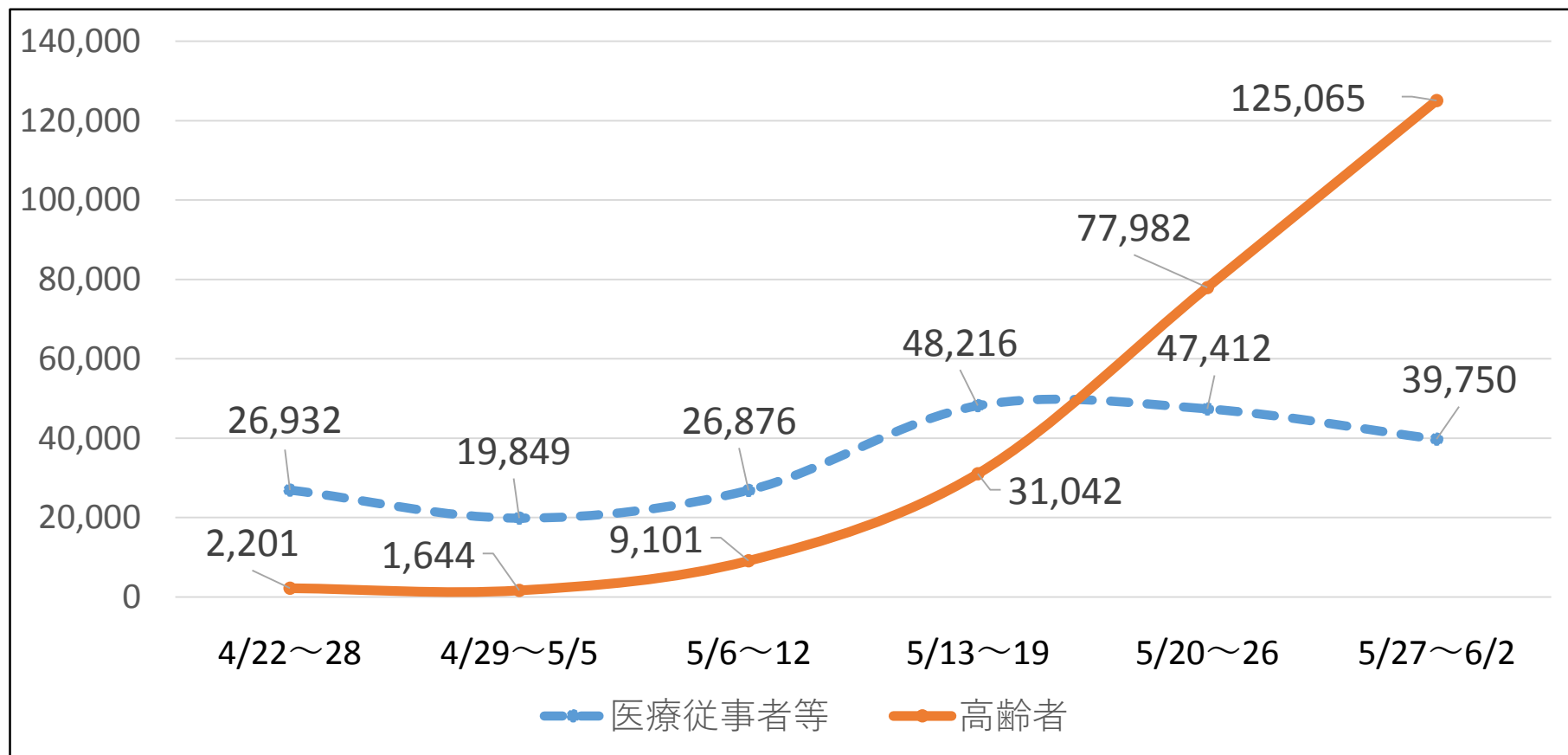
□ 6月2日時点 1回目接種終了： 6,266,076人(17.4%)
2回目接種終了： 557,469人(1.5%)

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種回数)

3 直近1週間における接種回数

■ 5月27日～6月2日：17万7,206回（一日平均：2万5,315回）

4 1週間毎の接種回数推移（医療従事者等・高齢者）



新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

5 高齢者向け接種の終了時期の見込み

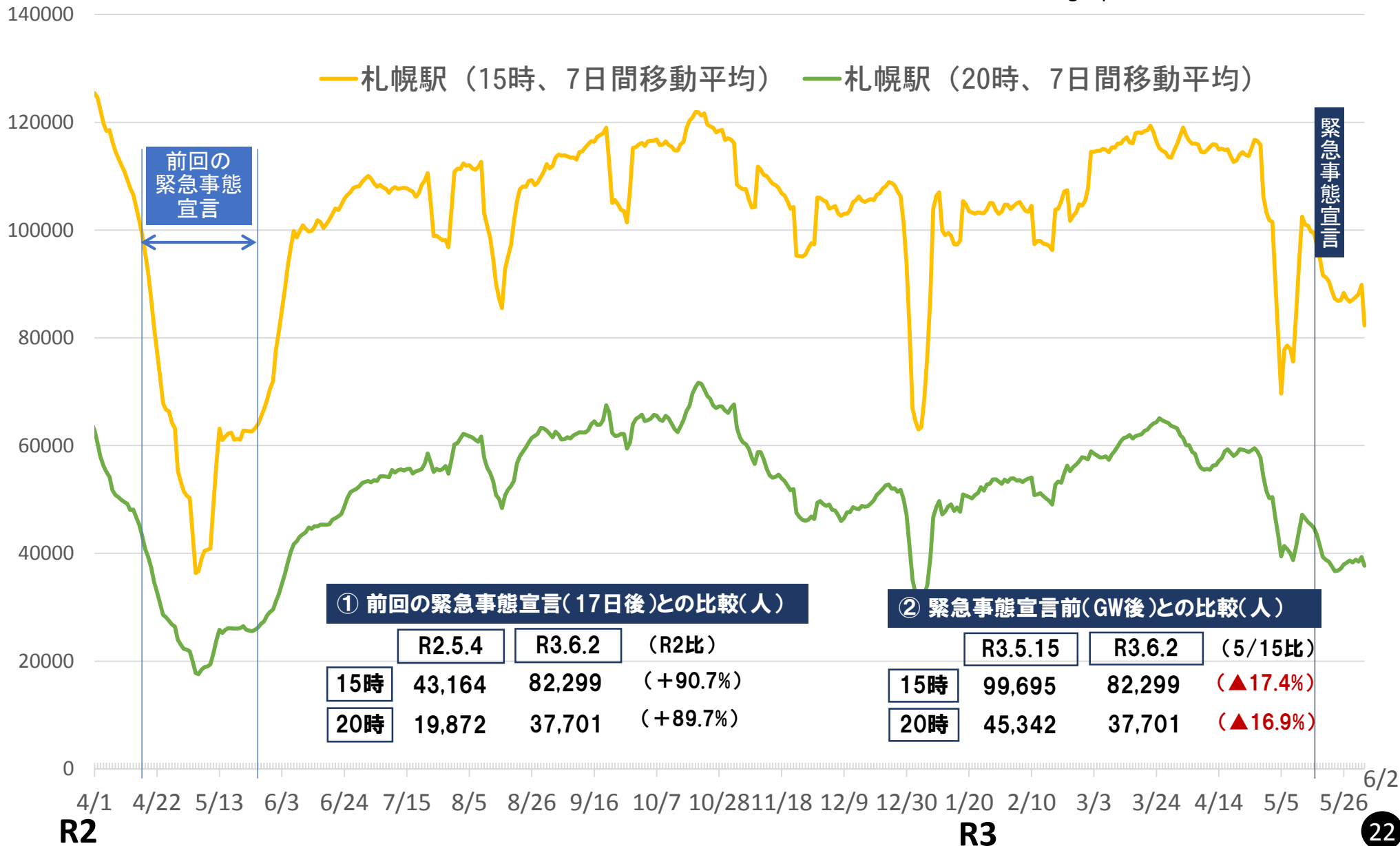
- 高齢者向け接種2回目の終了時期の見込みについて、道内では、6月2日現在、164団体が7月末までに終了見込み(91.6%)。15団体(8.4%)が8月中に終了見込み。
- 重症化リスクの高い高齢者の方々に、一日も早くワクチン接種を受けていただくため、市町村が行う集団接種に対する支援に加え、医療機関において実施される個別接種や集団接種に係る働きかけにも取り組む。
- 地域における感染状況や医療提供体制の状況、医療従事者の偏在の状況を踏まえ、集団接種会場の設置について調整中。

6 職域接種の開始

- 国では、ワクチン接種に関する地域の負担を軽減し、接種の加速化を図っていくため、6月21日から、企業や大学等において、職域(学校等を含む)単位でワクチンの接種を開始することを可能とした。
- ※ 自治体による高齢者等への接種に影響を与えないよう、接種に必要な会場や医療従事者等は企業や大学等が自ら確保する。

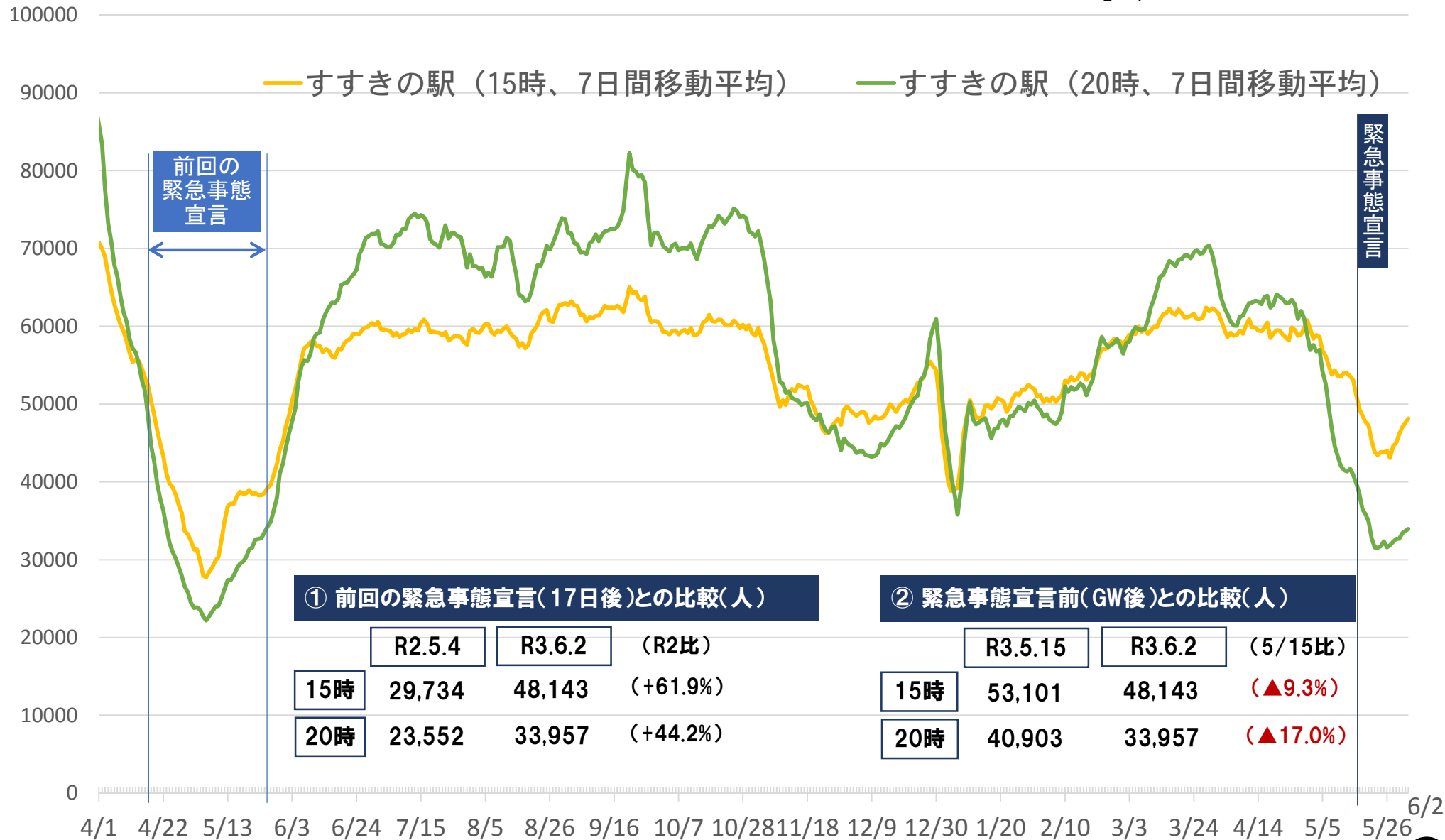
札幌駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



※(株)Agoop提供データを基に北海道作成

—すすきの駅（15時、7日間移動平均） —すすきの駅（20時、7日間移動平均）



① 前回の緊急事態宣言(17日後)との比較(人)

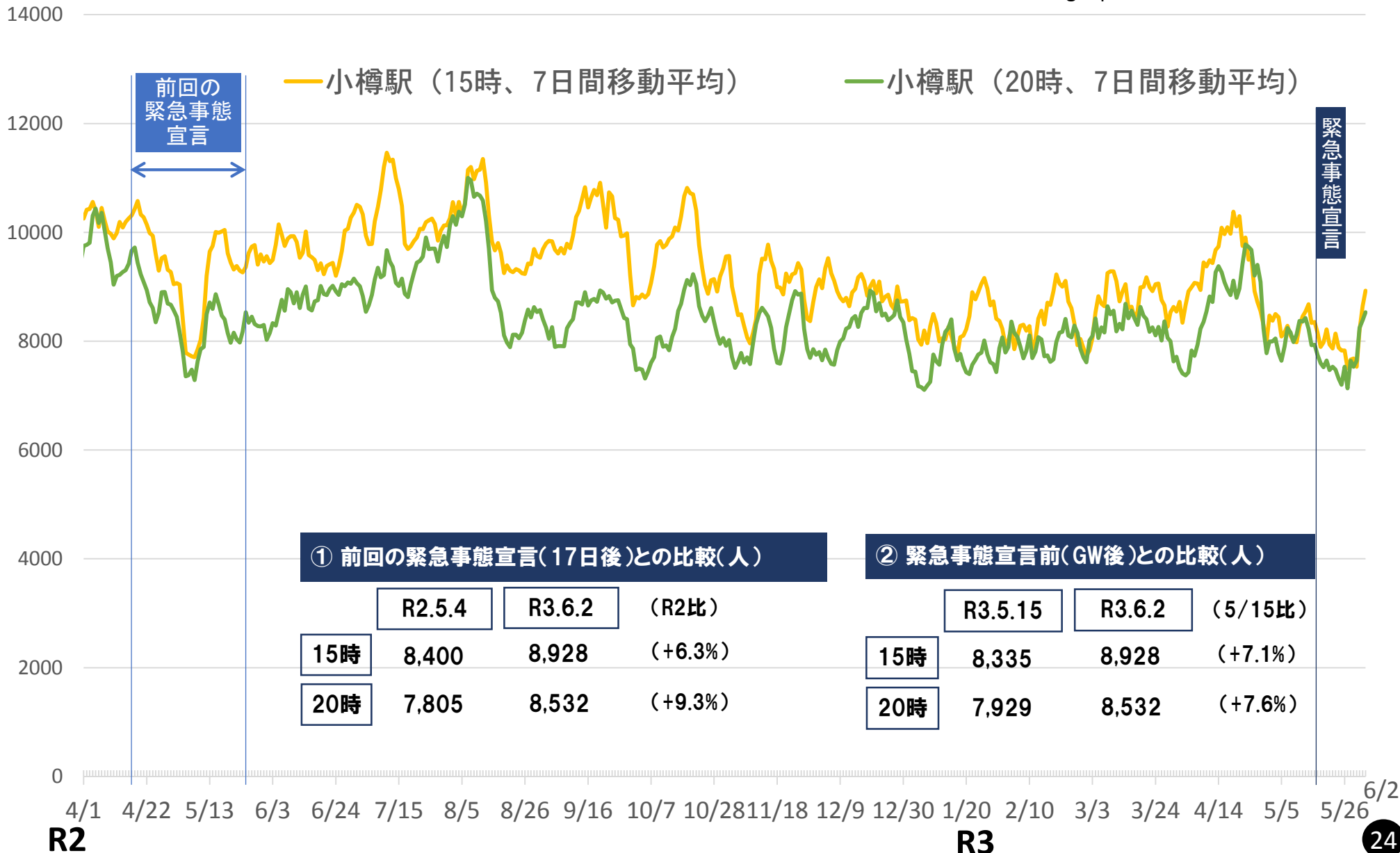
	R2.5.4	R3.6.2	(R2比)
15時	29,734	48,143	(+61.9%)
20時	23,552	33,957	(+44.2%)

② 緊急事態宣言前(GW後)との比較(人)

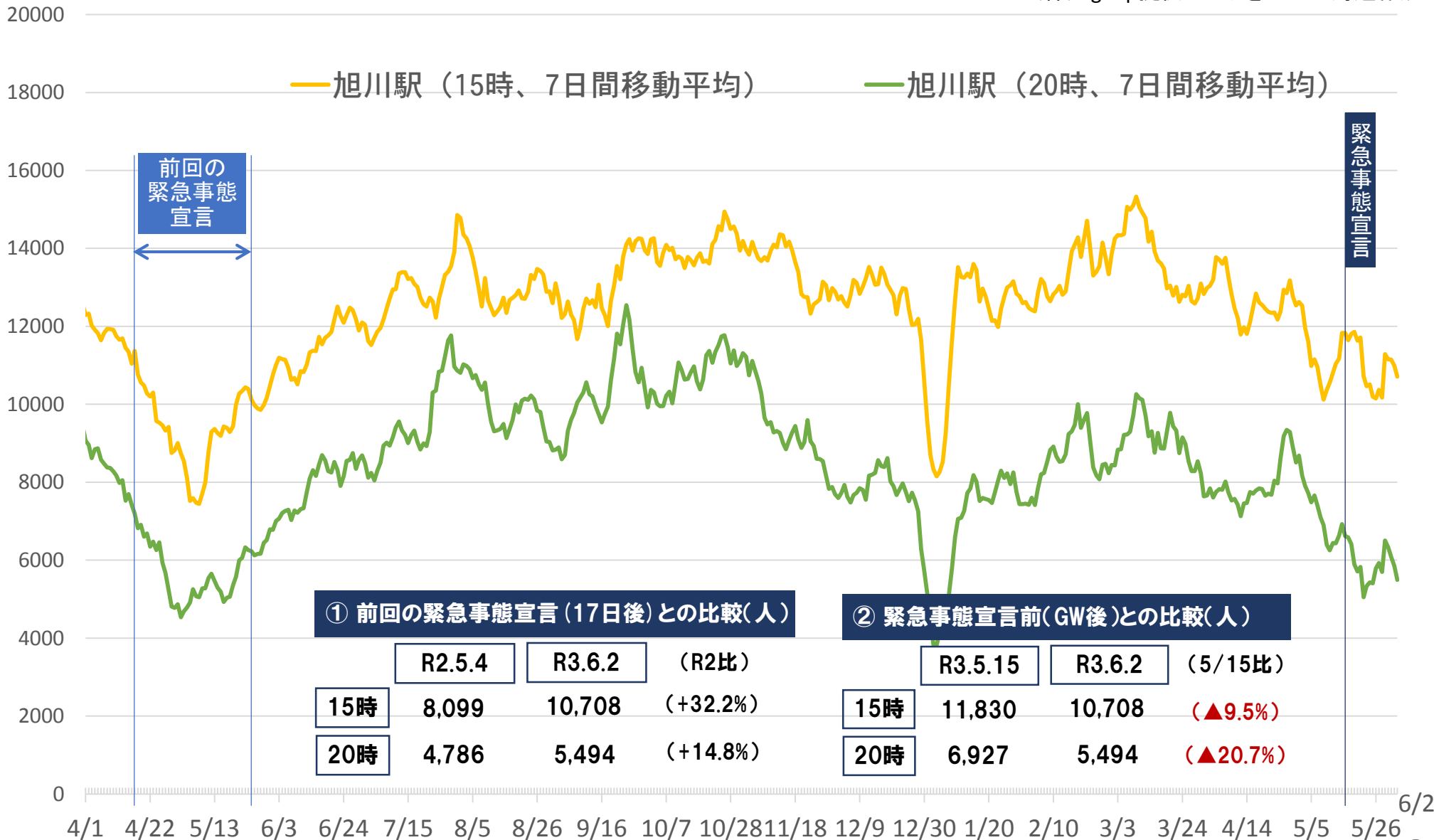
	R3.5.15	R3.6.2	(5/15比)
15時	53,101	48,143	(▲9.3%)
20時	40,903	33,957	(▲17.0%)

小樽駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成

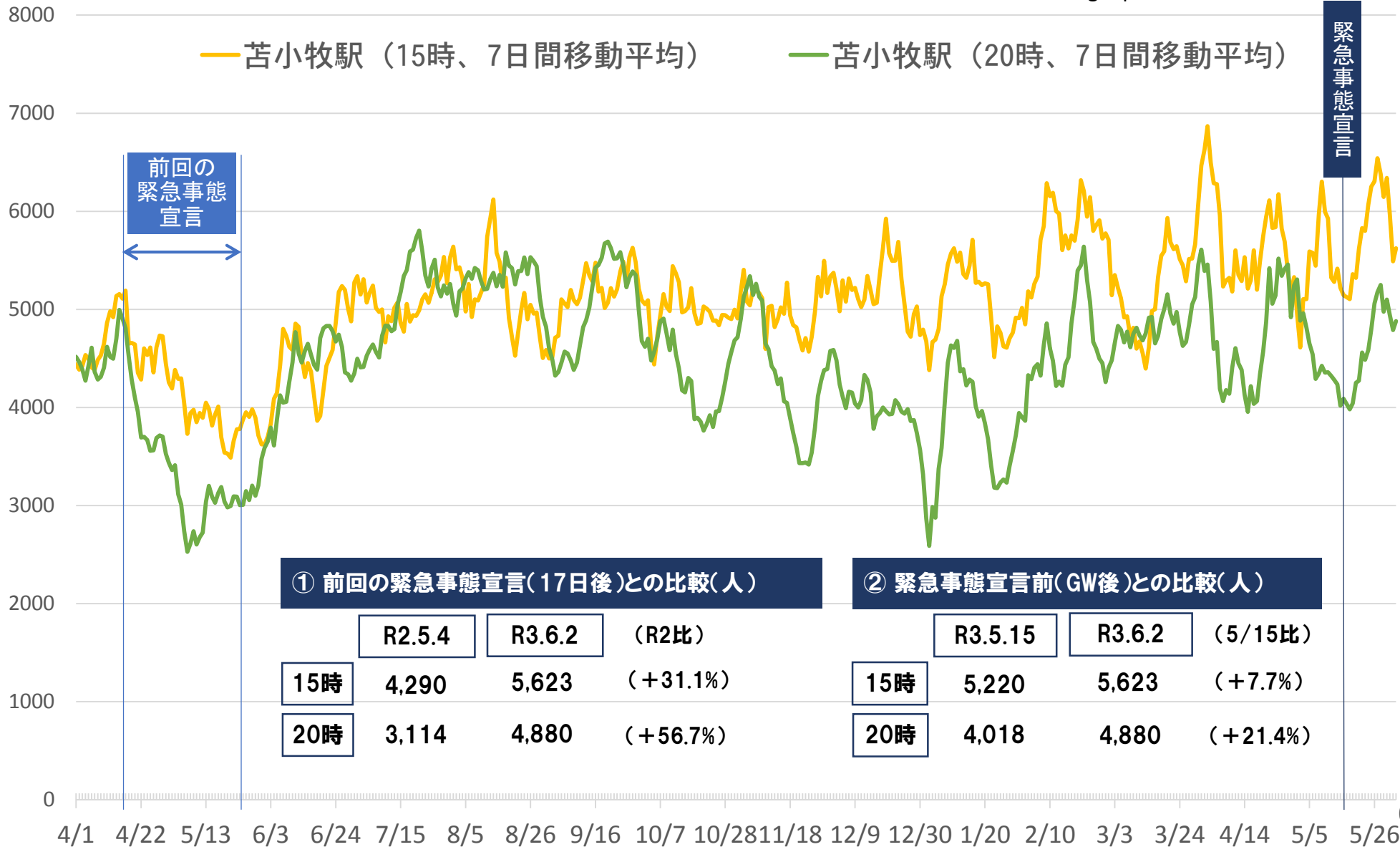


※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



苫小牧駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



緊急事態宣言

— 苫小牧駅 (15時、7日間移動平均)

— 苫小牧駅 (20時、7日間移動平均)

前回の
緊急事態
宣言

① 前回の緊急事態宣言(17日後)との比較(人)

	R2.5.4	R3.6.2	(R2比)
15時	4,290	5,623	(+31.1%)
20時	3,114	4,880	(+56.7%)

② 緊急事態宣言前(GW後)との比較(人)

	R3.5.15	R3.6.2	(5/15比)
15時	5,220	5,623	(+7.7%)
20時	4,018	4,880	(+21.4%)

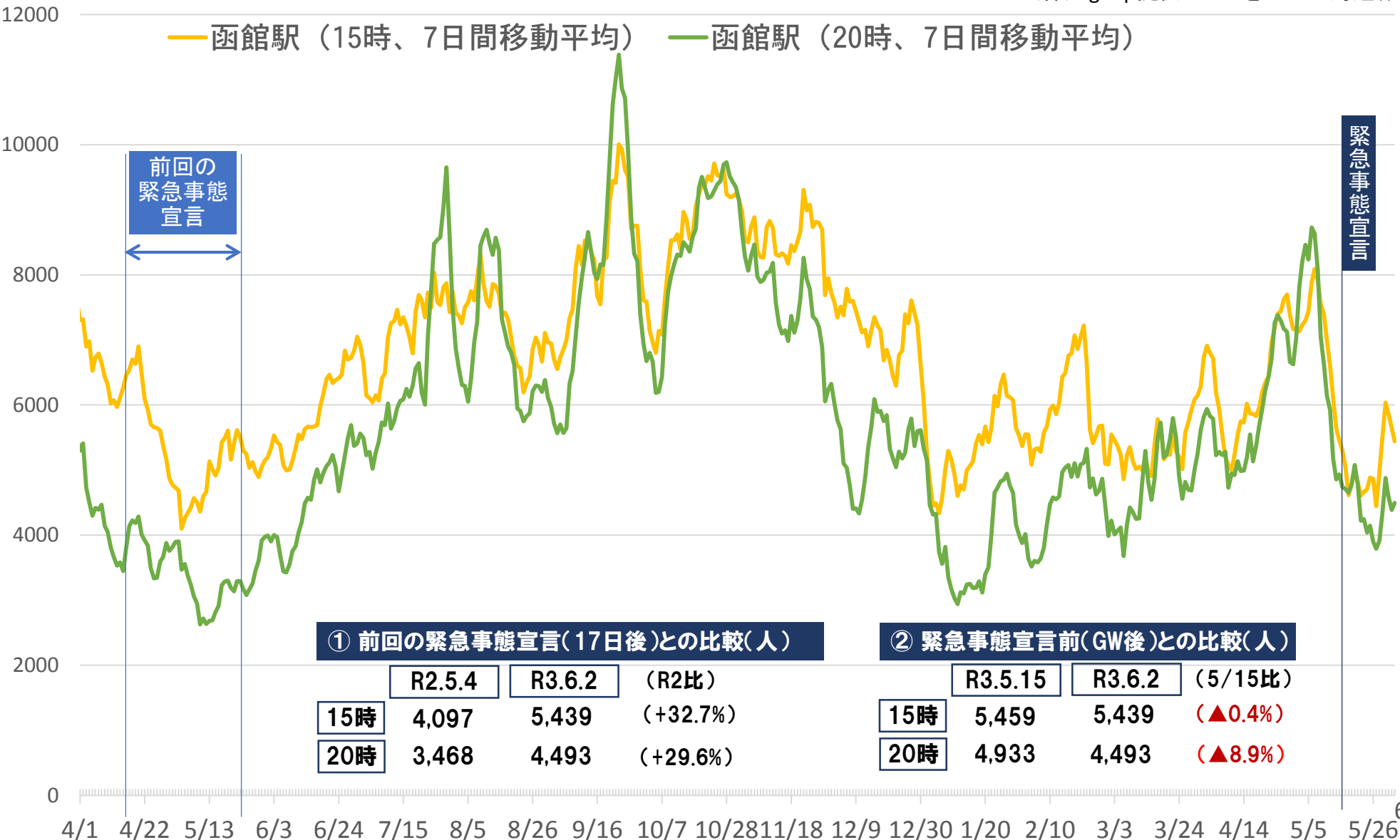
函館駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成

— 函館駅 (15時、7日間移動平均) — 函館駅 (20時、7日間移動平均)

前回の
緊急事態
宣言

緊急事態宣言



① 前回の緊急事態宣言(17日後)との比較(人)

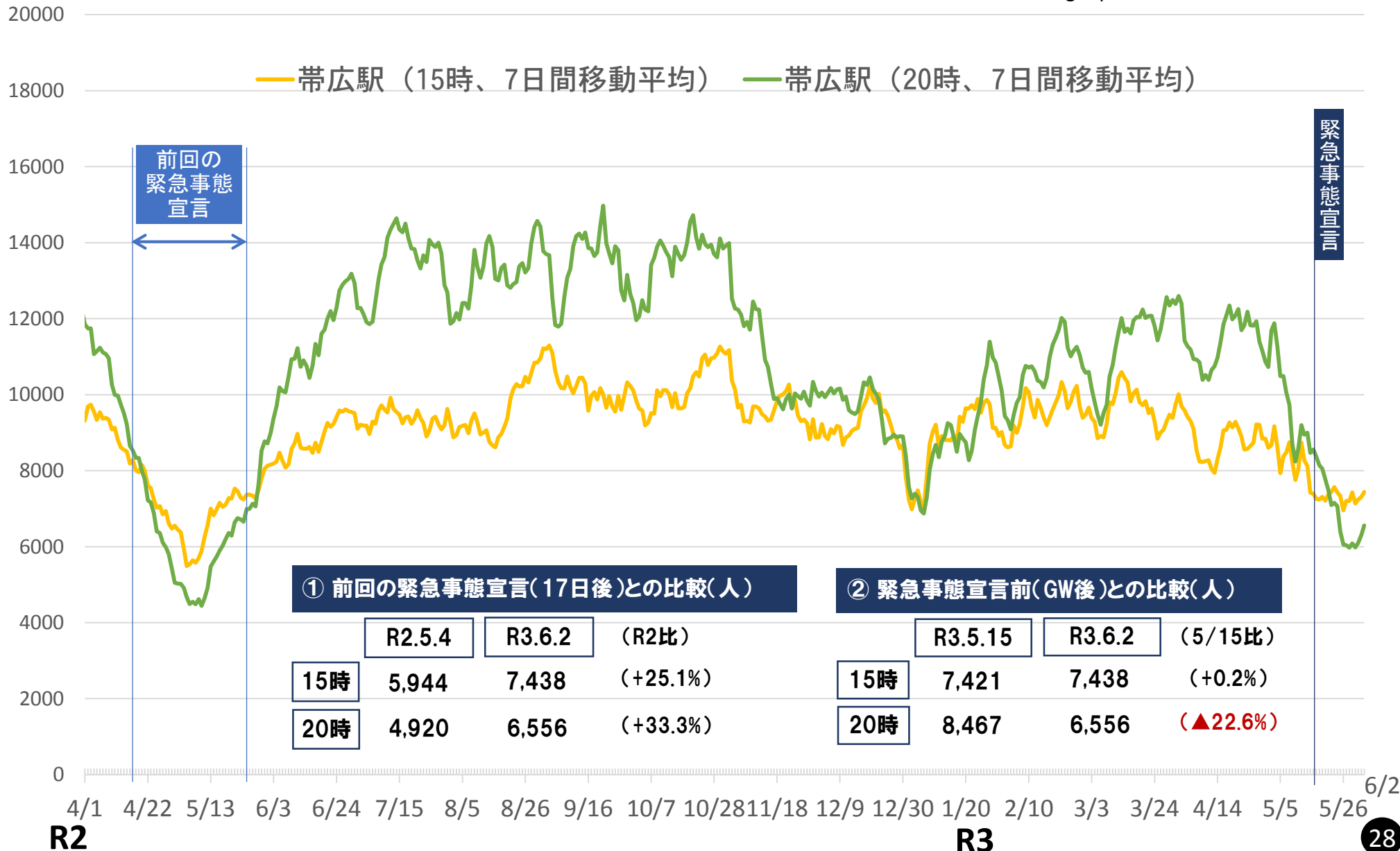
	R2.5.4	R3.6.2	(R2比)
15時	4,097	5,439	(+32.7%)
20時	3,468	4,493	(+29.6%)

② 緊急事態宣言前(GW後)との比較(人)

	R3.5.15	R3.6.2	(5/15比)
15時	5,459	5,439	(▲0.4%)
20時	4,933	4,493	(▲8.9%)

帯広駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成

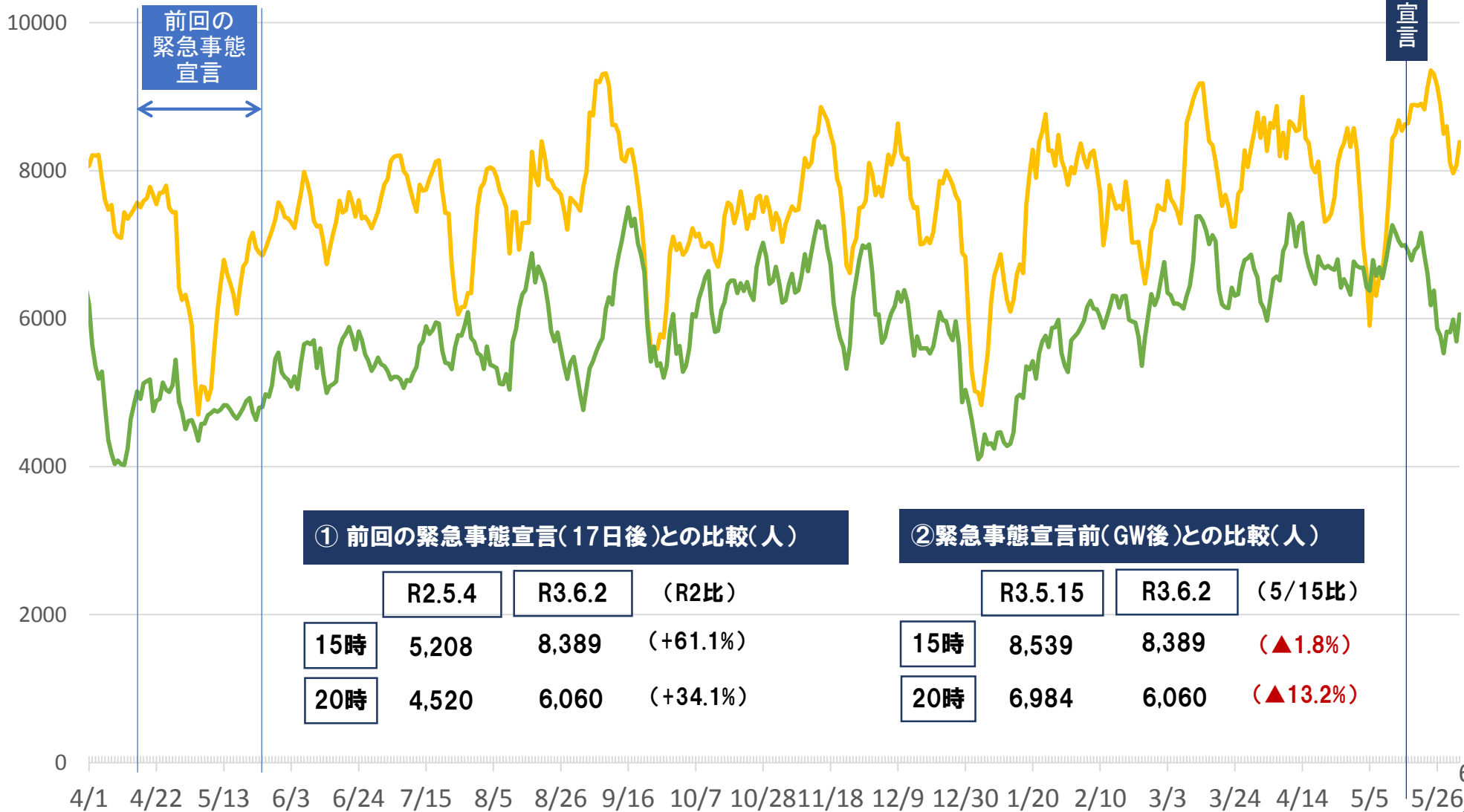


釧路駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成

緊急事態宣言

— 釧路駅（15時、7日間移動平均） — 釧路駅（20時、7日間移動平均）



① 前回の緊急事態宣言(17日後)との比較(人)

	R2.5.4	R3.6.2	(R2比)
15時	5,208	8,389	(+61.1%)
20時	4,520	6,060	(+34.1%)

② 緊急事態宣言前(GW後)との比較(人)

	R3.5.15	R3.6.2	(5/15比)
15時	8,539	8,389	(▲1.8%)
20時	6,984	6,060	(▲13.2%)

総評①

【感染状況】

- 感染経路不明の割合や陽性率は、改善しつつあり、新規感染者数は、5月24日から減少が続いているが、依然として10万人当たり約50人と高い水準。
- 特定措置区域の感染者数についても減少傾向が見られるが、引き続き、全道の感染者数の8割を占めており、特に、札幌市の10万人当たりの感染者数は80人を超え、病院、社会福祉施設等の集団感染も継続して発生するなど、厳しい状況が継続。
- その他の措置区域の感染者数も減少傾向にあるが、社会福祉施設等における集団感染が連日確認されている状況。
- 全道の主要な地点において人流は減少しているが、繁華街など一部においては増加が見られる。

【医療提供体制】

- 自宅や宿泊施設療養を含めた療養者数は高止まっており、入院患者数についても、高い水準が続いている。特に札幌市内においては、入院や宿泊療養施設への入所の調整が困難になるなど、医療の限界とも言える状況が続いている。
- 地域の基幹病院等においても、その機能を維持することが極めて厳しく、怪我や急病など通常の医療が直ちに受けられなくなる恐れがある状況が続いている。

【ワクチン】

- 接種を希望する20万2千人の医療従事者への接種は、6月2日現在において、1回目約97%、2回目約58%、また、高齢者166万人への接種は、1回目約14%、2回目約0.8%が終了した。直近1週間における一日当たりの接種回数は、約2万5千回となっている。

【モニタリング検査】

- 国が実施するモニタリング検査が、北海道エアポート(株)の協力のもと、本日(6月3日)から新千歳空港において開始された。

総 評②

【今後の対策】

- 感染しやすいとされる変異株への置き換わりを念頭に、引き続き、全道域で人と人との接触を徹底して抑えるための対策を実施し、特に、特定措置区域において、飲食店等への見回りや普及啓発など、市町村との連携を一層強化して対策に取り組むとともに、札幌市内においては、さらなる徹底を図る。
- さらに、来道を検討されている方々に対しては、来道を極力控えるよう呼びかけるとともに、道外に拠点のある企業など、道が有する様々なネットワークを通じて協力を働きかける。
- 自宅で療養される方に対し、食品や日用品セットの配付やパルスオキシメーターの貸与に加え、保健所による健康観察の徹底や必要に応じた在宅医療の提供など、万全の支援を行う。
- ワクチン接種を巡る状況が大きく変化していることから、6月1日付けで道の体制を整備したところであり、接種を希望する方が、1日も早く接種を終えることができるよう、市町村支援や職域接種などワクチン関連業務の戦略的な展開に向けた検討を加速する。
- アルファ株(英国株)より更に感染しやすい可能性があるデルタ株(インド株)については、海外から入国された方の陽性が確認された場合など、必要に応じゲノム検査を実施することとしている。また、スクリーニング検査の実施に向けて検討を進める。